

社会共創コンテスト 2017

日本の幼児教育内容をカンボジア保育士に動画で伝える事は有益か？

岡山学芸館高等学校

スーパーV コース 3 年 岡崎 修久

スーパーV コース 3 年 工藤 諒万

スーパーV コース 3 年 安廣 佳織

特別進学コース 3 年 時光 孝汰

1. はじめに

このレポートはカンボジア特にシェムリアップの地域課題である「幼児教育レベルの向上」のための課題研究をまとめたものである。日本で行われている幼児教育の様子を取材・撮影し、動画編集をしたものをカンボジアの保育士に見てもらったアンケート結果を集約している。この活動は、岡山学芸館高等学校のスーパーグローバルハイスクールでの取り組みの内容を抜粋した。

日本でも高校・大学の授業がインターネット上で閲覧できる映像 Web サービスが増えている。ノウハウの共有や教育研修として動画が非常に有益であると感じたためである。外部指導者として、カンボジアで保育園の経営をされている社会起業家の大房明良氏、広島大学で発展途上国の幼児教育を専門とされている三輪千明教授や静岡大学の藤本穰彦特任教授らにご指導を頂いた。

2. 問題意識

カンボジアの幼児教育の課題

三輪氏(2014),MoEYS(2014)によると、カンボジアの幼児教育が抱える課題として、5 歳未満の児童の就園率 (37%)、地域的格差、人材不足、質保証の仕組みの欠如、養護や栄養保健面での対応の乏しさ等が挙げられている。

(1)保育士の人材不足

シェムリアップは三次産業が盛んで特に観光業が中心となっている。教育分野への従事は人気がなく、保育士などの子供達の教育に携わる人口が減少し、教育者の数の不足はカンボジアの子供達の教育の場が十分に確保されない現状を招いている。

(2)質保証の仕組みの欠如

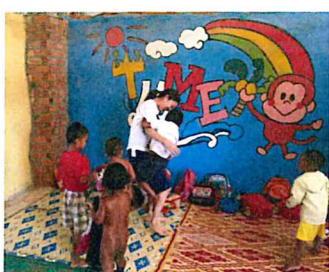
預ける側の保護者の意識も変化が必要である。両親は子供達を保育園に預けざるをえないが、預かる側の保育士達は保育園がどのような機能を果たすものなのか、保育士が果たすべき義務がどういったものなのか理解していないため、子供達への対応が雑になってしまったり本来の保育園としての機能が果たせなかったりする現状がある。

3. 課題解決の活動報告・内容、手法

3-1. 問題意識の明確化とカンボジア幼児教育への理解深化

(1)カンボジアで保育園経営をしている社会起業家 大房明良氏からのヒアリング

2016 年 6 月に大房氏をお招きし、カンボジア幼児教育についてお話しを伺った。農村部の保育園では「託児」に偏っており、遊び道具なども不足している。大房氏は経営者の立場から「安全面」「衛生面」「情操教育」など、様々な面から保育士の研修をしたいと考えているが、日本への渡航は費用面でも実現が難しく、研修制度も不十分であるため、私たちの活動に対する期待を寄せてくださった。



(左・中：大房氏がシェムリアップで経営するタマイ保育園の様子,右：大房氏)

(2)カンボジア地方コミュニティに詳しい 静岡大学 藤本穰彦特任准教授からのレクチャー

2016 年 9 月藤本准教授に本校にご来校いただき、カンボジアの社会や文化、教育などについてのディスカッションを実施。先行研究等だけではわからなかったカンボジア社会について深く学ぶ事が出来、問題意識を明確化させることができた。また、広島大学の三輪教授を訪ねる際に、質問すべきことなどの理解を深めることができた。

(3)カンボジア等発展途上国の幼児教育研究者 三輪千明教授からのレクチャー

2016年10月広島大学訪問。先行研究を調べていくと、三輪千明教授にたどり着き、三輪教授のレポートを中心にカンボジアの幼児教育について学んだ。レポート・論文の内容をより深めるため、広島大学大学院国際協力研究科の三輪千明教授を訪ね、カンボジア教育での問題点、改善するべきところや日本の幼児教育との比較について約3時間の講義を伺った。特に、この講義から日本の幼児教育内容でカンボジアに役立つ可能性がある分野として、「小学校への準備」「衛生面」「安全性」というポイントがあることが分かった。



(広島大学・三輪千明教授)



(静岡大学・藤本穂彦教授)

3-2. 動画の撮影及び編集について

ここまで、カンボジアの幼児教育に関する学習をすすめ、日本で当たり前に行われている幼児教育とカンボジア国内での現状に差異があることが分かった。カンボジアの文化を理解しつつ、役に立つような動画作成を行うため、「カメラ撮影技術」「引き出す技術」「構成技術」「編集技術」の4つの分野、プロカメラマンである高原勝也氏を講師に招き、ご指導を頂いた。

(1)高原氏によるビデオカメラ指導 ～「カメラ撮影技術」～

動画撮影にあたり、カメラの基本的な用語、使用方法、撮影方法などの実践を指導して頂いた。



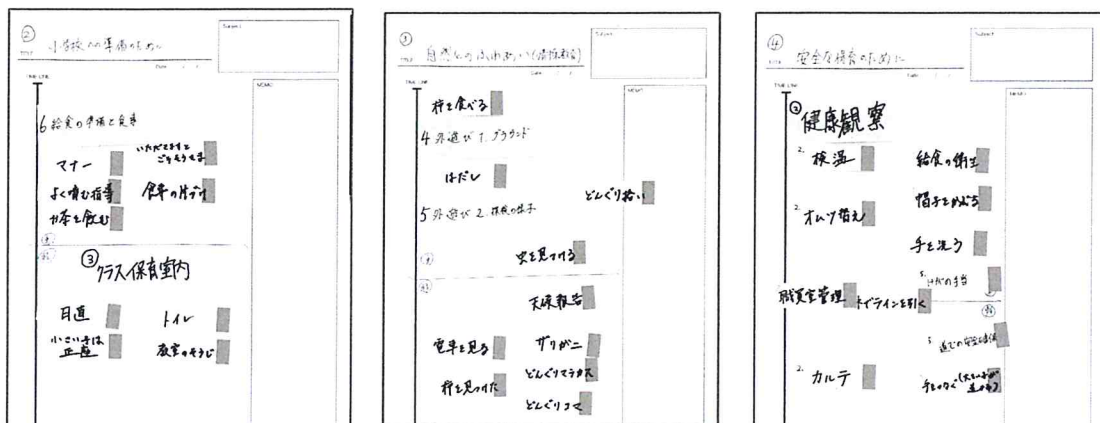
(2)めぐみ保育園での撮影実践 ～「引き出す技術」～

私たちはカンボジアに日本の幼児教育の実態を伝えるために、本校所在地である岡山市東区にある、「めぐみ保育園」へ撮影協力依頼をした。高原氏に撮影に帯同していただき、カメラで撮影する時の「引き出す技術」をまなぶことができた。その場毎に応じた被写体（園児）とのコミュニケーションにより、被写体の魅力を何倍にも引き出すことができる事を、実践の中で学ぶ事が出来た。



(3)動画の構成について ～ペタで学ぶ「構成する力」～

編集方法は、放送業界でも行われている「ペタ」と呼ばれる、構成のベースシートに内容を付箋に書いて貼っていく形式で行い、めぐみ保育園の教育内容を大きく3つの分野に纏めた。「安全な保育のために」、「自然とのふれあい」、「小学校への準備」という3分野である。



(ペタシートのサンプル,2016年11月作成)

(4)動画編集と日本語テロップ、翻訳 ～「編集技術」～

プロが使用する「Final Cut pro」の使い方を学びながら編集した。特に、苦労したことはやはり、「視聴者が見やすいよう」動画をつくることだ。音のズレや画像のズレ、音楽の微調整など何百回もの試行錯誤を繰り返し、ベースとなる映像を作り上げることができた。

日本語のテロップは、動画編集時に行った「ペタ」の要領で、その場面に合う日本語を考えていく作業となり、グループ全体で協力しながら各シーンにふさわしい日本語を考えた。クメール語のテロップも現地の人に翻訳を依頼し作成した。

(5)検証方法

本研究のテーマ「日本の幼児教育をカンボジア保育士に動画で伝える事は有益か？」という問いを検証する為、2017年1月、本校の1年生がカンボジアに赴く際に、私たちのクメール語版の動画・アンケートを託した。大房氏が経営するタマイ保育園や、近隣の幼児教育施設2か所にて動画を視聴して頂き、保育士の方々に動画に関するアンケートに答えて頂くことで、「有益だったか」という面を検証した。また、本動画が「日本の幼児教育を十分に表現できたものであったか」という検証が必要と感じ、日本人保育士にも日本語動画を視聴してもらい、アンケートを行った。

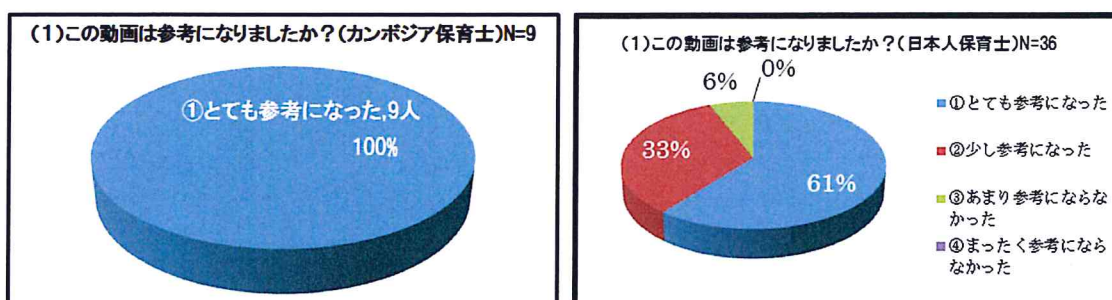


(タマイ保育園の先生方による視聴)

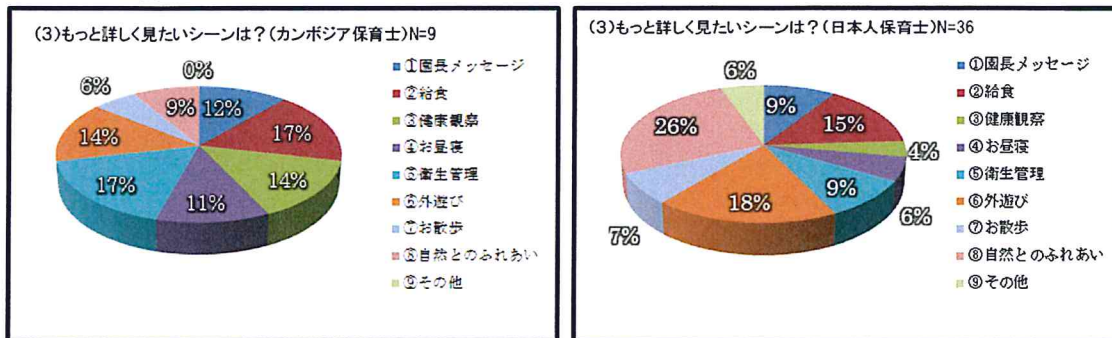
4. 課題研究の結果

アンケートの結果からわかること

4-1.日本の保育園での様子を見て、どのように感じましたか？



4-2.もっと詳しく見たいと思ったシーンがあれば教えてください。



4-3.動画を見た感想があれば教えてください。

【カンボジア人保育士の感想】

- この動画は、子供に食事の食べ方や昼寝などを教えてくれました。特に、外遊びの時に車に注意することは本当に重要です。
- この動画は、すごく素敵で、大好きになりました。カンボジアの子供も、十分食べて、勉強できるようにって欲しいです。
- この動画が見ることができて良かったです。この動画は、とても貴重で参考になります。先進国の日本と同じくカンボジアが発展出来るように、カンボジアも同じ教育制度になってほしいです。

【日本人保育士の感想】 ※一部抜粋

- 高校生たちが作った動画とは思えないような完成度だった。保育に興味がある人に見せても良い動画だと思う。今後、もっと違う角度から見たものも今後作ってほしい。
- 「～させる」という表現が気になった。「～できるように促す」などの子どもたちの権利を尊重するような表現が好ましいと思う。
- カンボジアも日本も、安心安全に保育するという事は共通だと思うので、その点においては、よくまとまっている内容だと思った。

5. 考察とまとめ

カンボジア人保育士の方々からは、「とても参考になった」という評価を 100%いただくことができ、一定の有益性を感じることができた。アンケート結果からわかることは、カンボジアと日本で同じ保育士でも見ている視点には差異があるという事だ。カンボジアの保育士は、ほとんどの項目について、興味を持ってくれた。もっと見たいという質問については、「給食」「衛生管理」という事前にこちらがカンボジアで発展途上と想定されていた項目について比較的高い関心を持っていた。これは、自然一体型の教育方針を持っているめぐみ保育園の特色が反映されたと思う。

日本人保育士の興味関心は、「外遊び」「自然とのふれあい」「園外散歩」などが上がっている。これは、自然一体型の教育方針を持っているめぐみ保育園の特色が反映されたと思う。

今後の課題としては、カンボジアの保育士さんから「もっと詳しく見たい」という要望をもらった「給食」「衛生管理」について、日本の保育園で行われている特色などをより詳しく取材・撮影することを考えていきたい。

6. 参考文献

1. 『カンボジアの幼児教育 一途上国農村部におけるアクセス拡大の方法と課題一』（2014,三輪千明）
2. 『発展途上国の保育と国際協力』東信堂,（2012,浜野隆・三輪千明）
3. 『カンボジア経済の基礎知識』（2016,日本貿易振興機構）
4. 「国連開発計画（UNEP）『人間開発報告書 2015』（2016/12/25 閲覧）
http://hdr.undp.org/sites/default/files/2015_human_development_report.pdf